



「犬人間、猫人間！！」

ペットを飼うのにも犬が好きな人と猫が好きな人がいる。

あなたはどちら派だろうか？

最近ではペットの世界でも猫ブームのようだが、猫は餌が欲しい時とか、遊んでほしい時には文字通り猫撫で声で近寄っては来るが、目的を達するとパイと離れて行ってしまふ。

猫は動き方が非常にドライである。

猫は人に懐くというよりも家に懐くとはよく言ったものである。

それに対して犬は結構ウェットである。美味しいモノを食べさせてくれる人や可愛がってくれる人にべったりとなってしまう。

犬は美味しいモノを食べさせてくれる人には尻尾を振るが、そうでない人には見向きもしない。

犬は飼い主にべったりで、なかなか一人歩きができない。

ペットの世界での犬や猫ではどうでも良いが、こと企業経営やビジネスの世界では餌付けされた「犬人間」では困るのである。

餌をくれる人にだけは尻尾を振って、一人歩き出来ない「犬人間」ばかりでは、会社はやがて傾いていくであろう。

企業経営やビジネスにおいては「餌付け犬を育てるな」というのは鉄則である。動物の世界でも「餌付け猿を育てるな！！」とはよく言われる言葉である。自分で餌を取る能力が劣化してくるからである。

自分で自分の餌を取れないビジネスパーソンは独り立ちして生きていけない。

自分で自分の給料を稼ぐことができず、自分を喰わせていけないビジネスパーソンは無用の長物である。

上司の顔色ばかり窺って、一人歩きできないビジネスパーソンは上司が変わると野垂れ死にする運命にある。

企業経営やビジネスにおいては「猫人間」が求められているのである。自分勝手に好きなように行動するのはアウトローであるが、猫人間はそれとは違う。

猫人間は猫のように家（会社組織）に帰属し、家（会社組織）の意向に沿って行動する。

猫人間の組織への帰属意識は高い。そして彼らは十分に独り立ちができているのである。

「猫人間」を沢山育てていく必要がある。

